

(様式1)

学校名(徳島県立阿南支援学校)

校長(美馬恒子 印)

平成22年度とくしま特別支援総合サポート充実事業計画

(支援名: 地域に根ざした支援)

1 事業内容

地域における支援

ア) 専門家等を活用した相談・研修

特別支援教育研修事業(夏季休業中に3日間開催予定)

講師: 本校教諭, 地域の小学校等教諭

阿南支援学校公開研修会(夏季休業中に開催予定)

講師: 鴨島病院作業療法士(予定)

阿南支援学校公開研修会(冬季休業中に開催予定)

講師: 未定(今後交渉予定)

イ) 関係機関との連絡・調整

阿南市特別支援連携協議会

阿南市特別支援教育連携協議会が有機的に機能していけるように関係機関と連携し, 事務局としてサポートする。今年度は就学支援シートに関する取り組みも始まるため, いっそう各機関が協力して関わっていく必要がある。

<年間計画>

		回数	参加者	内容
6月	全体会	1回	各関係機関担当者 各校コーディネーター他	研修会, 情報交換
8月	学校区連絡会 及び高等学校 連絡会	2回 程度	保育所, 幼稚園, 小・中・高校の コーディネーター及び担当者他	研修, ケース検討, 情報交換

南部1自立支援協議会及びサービス調整会議(毎月1回開催)

行政が中心となって地域の福祉, 医療, 保健その他関係機関が一堂に会し, 情報交換や事例検討, 地域のサポート体制の向上を目指した研修等を行っている。構成メンバーとして会議に参加し, 連携を深めていく。

地域における理解啓発

ア) 交流活動の促進

P T A活動を中心とした子育て支援事業「サポーター養成講座」

地域の人たちや子どもたちに多様な障害の理解を広く促し, 地域における支援者を増やすことで, 将来の休日活動や放課後活動, 社会参加のための地域支援ネットワークの拡充を目指す。ボランティアとして高校生の参加も増えつつある。

地元地域との交流

阿南リパティライオンズクラブとのクリスマス交流（小学部）

NPO法人P21会プールの監視援助及び給食交流（小学部）

地域行事における模擬店出店（高等部）

交流及び共同学習

<小学部>

対象校：大野小学校，長生小学校，山口小学校

回数：1校につき年間2回程度（計5～6回程度）

<中学部>

対象校：阿南第一中学校，羽ノ浦中学校

回数：1校につき年間3回程度（計6回程度）

<高等部>

対象校：富岡東高等学校羽ノ浦校

回数：年間1回程度

イ) 学校施設の開放

地域の研究会

- ・徳南ひまわりの会
- ・NPO法人P21会の研修会

保護者や関係者だけでなく地域に広く広報し，地域の理解啓発を図ることを目的に子育てや障害理解について講演会を開催している。

ウ) 情報発信

- ・地域のイベントにて本校生徒作品等の展示
- ・本校ホームページの教育相談に関する内容について改善し，研修会案内，教材教具の紹介等の情報提供，「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の様式等の公開等 Web を活用した情報発信を行う。また，阿南市特別支援連携協議会と共同で行っている就学支援シート等の取り組みについても Web を使って情報発信する。

2 本校におけるサポートの特色

- ・県南地域は総合教育センターが遠く，研修の機会が少ない傾向にある。本校の研修会は，地域でも定着してきており，県南地域の特別支援教育に携わる教員や関係者の貴重な研修の場となっている。
- ・20年度に発足した地域の関係者が連携するための阿南市特別支援連携協議会を，さらに地域の特別支援体制の向上を目指した有機的な会となるようサポートする。今年度は，就学支援シートや進学・転学支援シートを活用した引き継ぎに関する取り組みを進めることになっており，本校のサポートがなくても地域で自立した支援方法の一つとして根付くようサポートする必要がある。さらに自立支援協議会との連携が図れるよう働きかけを行っていきたいと考える。
- ・交流及び共同学習は，どの学部も何年も継続して行っている。交流学习及び共同学習だけでなく，小学部ではゲストティーチャーとして授業に出向き，児童への理解啓発をすすめている。また，地元の方々との行事交流や行事への作品の出展，模擬店への参加を通して理解啓発も促していきたい。その他，学校開放やホームページの活用を行い，特別支援学校からの発信を行っていききたい。